

船舶事故等調査報告書

平成23年12月22日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011函第23号	
事故等種類	座洲	
発生日時	平成23年5月17日 08時30分ごろ	
発生場所	北海道浜頓別町頓別漁港港口付近 頓別港東防波堤灯台から真方位157° 125m付近 (概位 北緯45° 08.1' 東経142° 23.8')	
事故等調査の経過	平成23年6月21日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（函館事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 第3はまとんべつ丸、14トン	
船舶番号、船舶所有者等	HK2-21766（漁船登録番号）、頓別漁業協同組合	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗り組み、頓別漁港内を対地速力約3ノットで手動操舵により航行中、船長が、港口付近に入港船を視認したが、ヒトデ駆除の目的で同港沖へ向かうことを急いでいたため、そのまま航行を続けた。</p> <p>船長は、港口付近で出会った入港船を避けようとして右転したところ、平成23年5月17日08時30分ごろ港口付近の砂が堆積した浅瀬に乗り揚げた。</p> <p>船長は、頓別漁港港口付近に砂が堆積した浅瀬があることを認識していた。</p> <p>本船は、僚船に引かれて離礁し、自力で頓別漁港へ帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：波高 約0.5m、潮汐 低潮時</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、頓別漁港を出航中、船長が、港口付近に浅瀬があることを認識していたが、入港船を避けようとして右転したことから、港口付近の浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、頓別漁港を出航中、船長が、港口付近に浅瀬があることを認識していたが、入港船を避けようとして右転したため、港口付近の浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	